

橋爪 晃 (元トランテックス社員)

余命2ヶ月の宣告。お手本にしたい生き様

新型コロナウイルスで日本中が混乱に陥った4月半ば過ぎ、コラム「凝らぬ・懲りぬ」を執筆頂いている元トランテックス社員の橋爪晃さんが、普段と変わらない声で筆者の携帯に連絡をよこした。

「今回のコロナは厄介なことになったが元気かい？東京は人が多いから余程気をつけた方がいいぞ。ところで、俺の方はこれで終わりだ。少しお腹が張るので医者に診てもらったら、脂肪に癌が出来ていて手の施しようがないから余命2ヶ月と言われた。85までは生きたいと思っていたが3年ほど届かないが仕方ないな。最期は自然体で逝こうとおもう。あまり時間がないから



2015年5月の呉越会セミナー。橋爪さんの(左)のお世話で小松市のジェイ・バスを訪問。右は筆者

ら身の回りを整理して直ぐに入院することになる。原稿(6月号)は書き上げたから明日にでもメールで送っておくから…。あんたには色々お世話になってありがとう。」

ほとんど一方的な話でそれほど口を挟む余地もなかったが、余命2ヶ月の宣告を受けた人とは思えないしっかりとした口調。こちら相づちを打つのが精一杯であったが「こちらこそ有り難うございました。」と何とか伝えることは出来た。

緊急事態宣言が発せられてから間もなく銀座は閑散とした風景に変貌した。国も小池都知事もステイホームを呼びかけていたが、筆者は土日も含めて毎日会社に通った。狭い自宅に籠もっているよりも気分が晴れるし、多少の運動にもなる。しかし、橋爪さんのことは常に脳裏から離れない。「新型コロナが一段落したら金沢の病院に行ってみよう。」その気持

ちはあるのに行動に移せない。橋爪さんが口にした2ヶ月はあっという間に過ぎてしまった。訃報は来ないからまだ大丈夫。コロナの感染者数も一桁に下がったのでお見舞いに行くならんしかな、と思うのであるが、どうにも踏ん切りがつかない。

そうこうしている内に東京は再度感染者が増え始めた。お盆なのに墓参りの帰郷もできない。終戦記念日、決心して橋爪さんに手紙を認めることにして筆をとるが言葉が出て来ない。わずか二枚の便せんを書くのにまる一日を要してしまった。文末に「ありがとう」の言葉を添えて投函した。

8月20日、「長女の橋爪聖華でございます。」のメールが筆者のパソコンに届いた。その瞬間、お別れの手紙は間に合わなかったことを知るのであるが、不思議に後悔はなかった。余命2ヶ月を力強い声で伝えてくれた時に、橋爪さんは既に覚悟を決めていたし、筆者の想いも伝わっていた筈だから…。

橋爪さんがどんな生き方をして来たか、多くの読者はご存じなので改めて紹介の必要はないと思う。

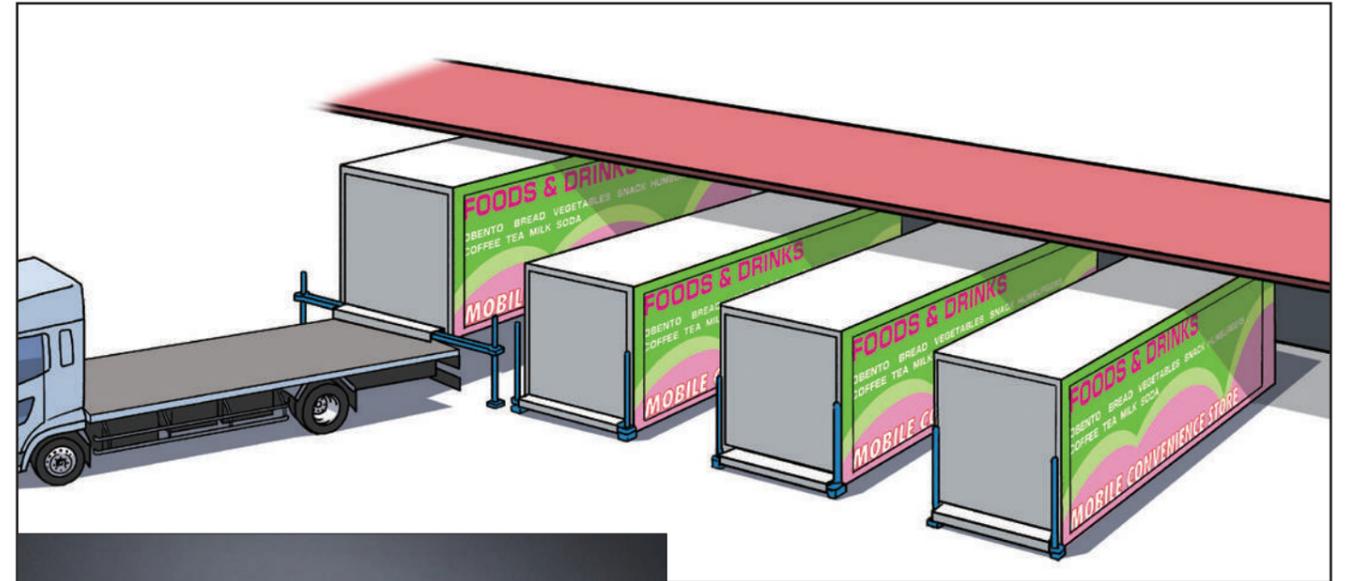
聖華さんのメールには「父は5月26日に亡くなりました。私は東京で在宅勤務中、午前11時半頃に弟からの連絡で、仕事を切り上げ午後急ぎ実家に帰り、27日通夜、28日に葬儀を済ませました。」とあり、最期の様子も詳しく綴られていた。

メールを読み終えて暫く応接で横になった。本誌が主催する東京トラックショーで賑やかな太鼓で盛り上げてくれた赤半被の橋爪さんを思い出し、どうにも涙が止まらなくなってしまった。最期の言葉をあれこれ考えても橋爪さんには「ありがとう」の言葉しか浮かばない。

(横路)

新しいスワップボディシステム

脱着ボディが電動油圧で自由に昇降



前方ジャッキは左右に伸縮・上下に昇降

後方ジャッキは脱着ボディのコーナーポストに格納。運搬車の荷台後端より外側で支持。側部の障害なし。



ご用命は

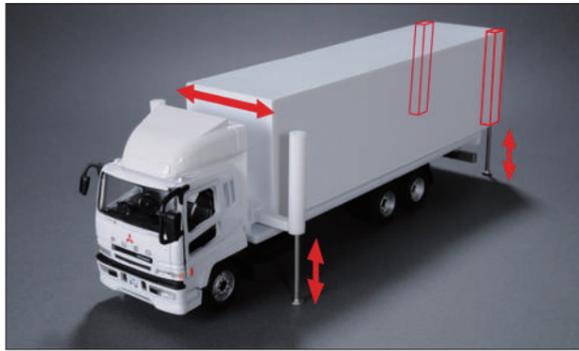
株式会社日新・ITV 販売事業部 (担当・横路)

〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-9三和産工ビル7階

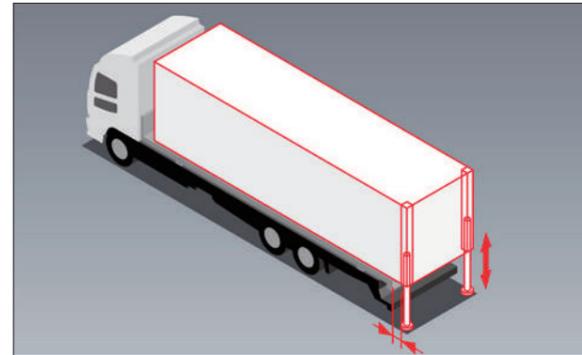
電話03-6278-8905

メール yokoro@nissin-news.co.jp

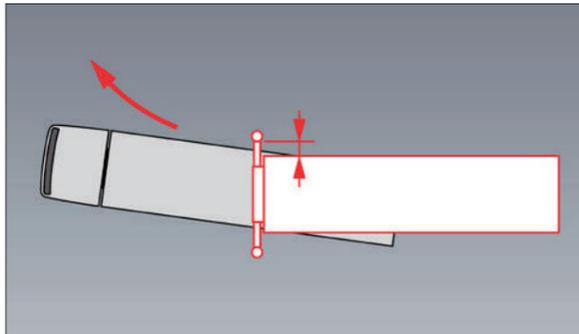
新しいスワップボディの脱着手順



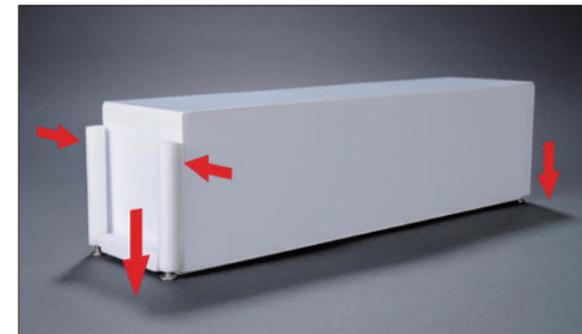
⇨ 脱着ボディの前方は左右に伸びるジャッキと上下昇降油圧シリンダー、コンテナ後方は油圧シリンダーをコーナーポストに組み込み、電動油圧システムで作動します。



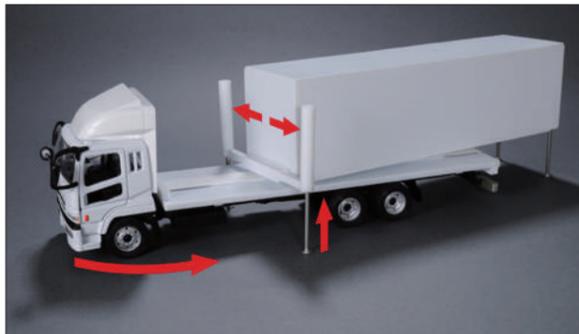
⇨ 脱着ボディ後部は、荷台から少しはみ出させることによって、油圧ジャッキはトラックの真後ろに位置します。これで脱着の際、障害になる支持脚はなくなります。



⇨ トラックが前進して脱着ボディは所定の場所におろします。この脱着の際にも前方のジャッキが左右に広がっているのハンドルを切りながら抜け出すことができます。つまり、脱着ボディの前に広いスペースが無くても大丈夫。

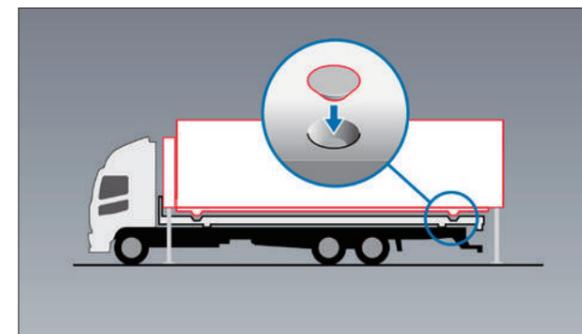


⇨ 所定の場所におろした脱着ボディは油圧シリンダーを縮めて、地面まで下げることができます。これによって、強風で脱着ボディが転覆する心配もなくなり、フラットな場所での荷役作業も可能になります。もちろん、油圧シリンダーは任意の高さで止めることも出来ます。



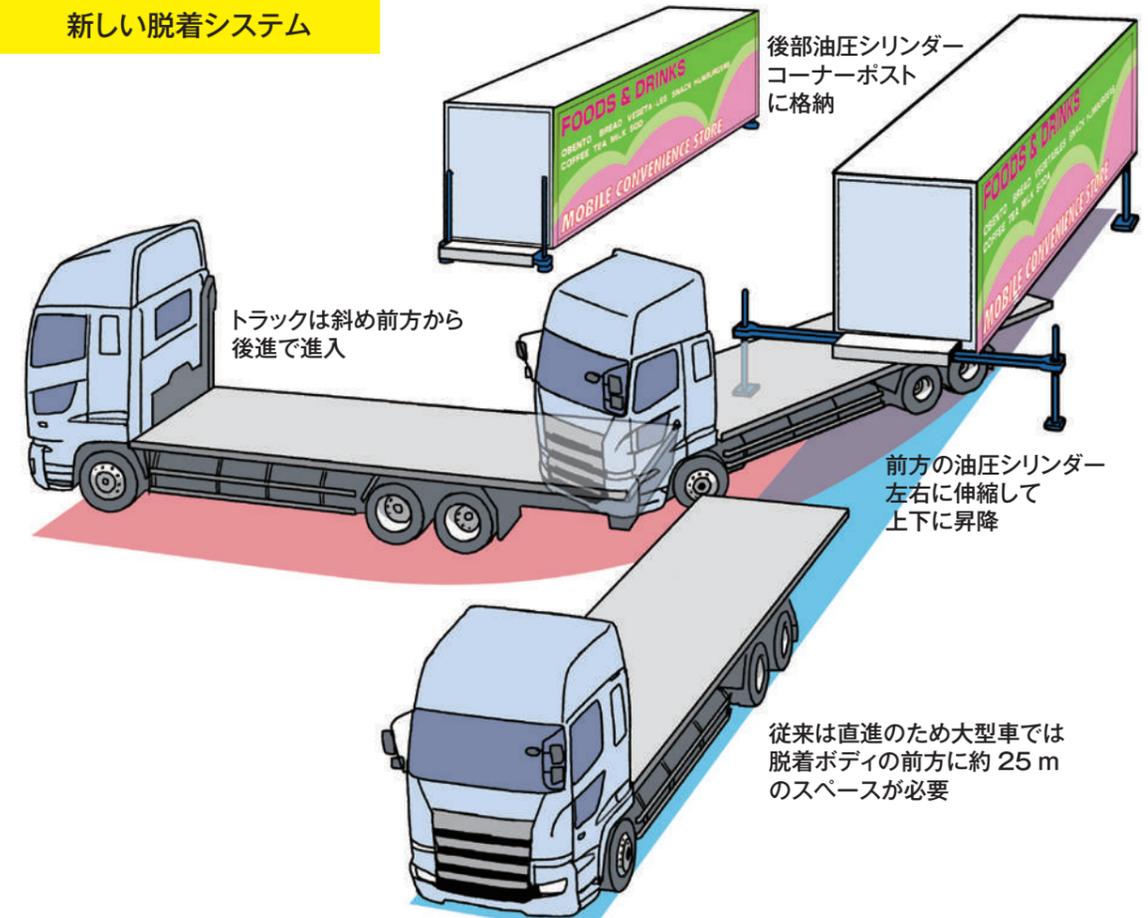
⇨ 脱着ボディの積載は電動油圧システムによって前方の油圧ジャッキを左右に広げたあと、前後4か所の昇降シリンダーによってリフトアップ。トラックが後進で脱着ボディの下に進みます。この際にも前方のジャッキは左右に広がっているの、ハンドルを切りながら後進できます。後部のジャッキは荷箱の後端にあります。脱着ボディが積載位置になると、荷台前方のストッパーによって位置決めされるので、接触する心配はありません。

⇨ 脱着ボディが積載位置になると、前後4か所の油圧シリンダーを縮めて積載します。その際に脱着ボディ裏面の凸部と運搬車荷台の凹部が噛み合って固定されます。この凹凸部を円錐形状にすることで、積載する際の脱着ボディのズレは修正されます。



新しいスワップボディシステム

新しい脱着システム



3大特長

その1

支持脚が電動油圧で昇降

脱着ボディに搭載した電動油圧システムで自由に昇降。プラットフォーム高にレベル合わせ可能。地面まで下ろせばフラットな場所での荷役作業も容易。重心が下るので強風にもつよく安全。

その2

障害物がないので楽々脱着

脱着ボディ前方のジャッキは左右に伸縮、上下にも昇降。後方ジャッキはコンテナのコーナーポストに組み込まれているので、運搬車（一般トラックで可）は支持脚を気にすることなく楽々作業。トラック荷台前方にクッション付きストッパーがあるので、トラックが後部ジャッキに接触する心配はない。また前方ジャッキの幅を大きく広げることができるので、トラックは斜め前方からでも進入が可能で前まわりのスペースは比較的狭くて済む。

その3

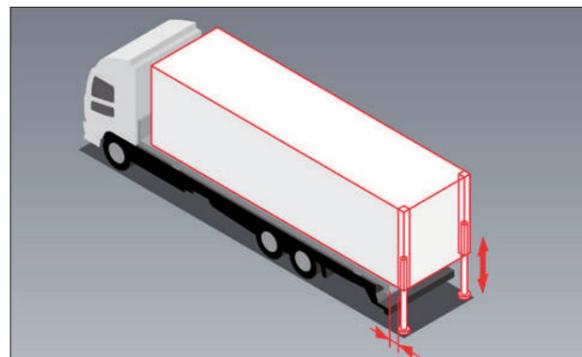
運搬車は一般トラックでOK

運搬車は一般トラック（フラットデッキ）でもOKなので汎用性が高く、車両の効率化が更にアップ。脱着ボディの積載位置は荷台の凹部とコンテナの凸部が嵌合、運搬中にずれることもない。

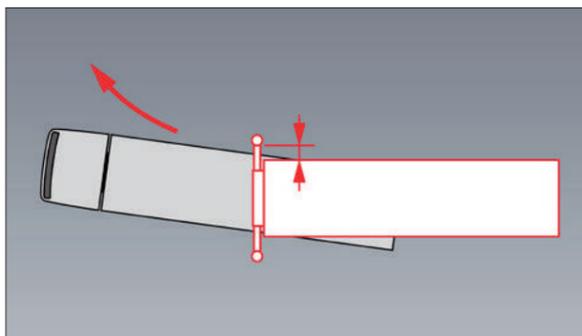
新しいスワップボディの脱着手順



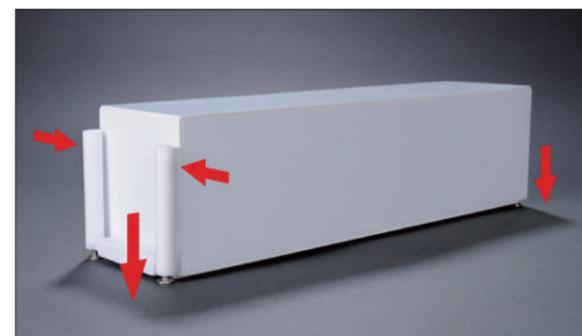
⇨ 脱着ボディの前方は左右に伸びるジャッキと上下昇降油圧シリンダー、コンテナ後方は油圧シリンダーをコーナーポストに組み込み、電動油圧システムで作動します。



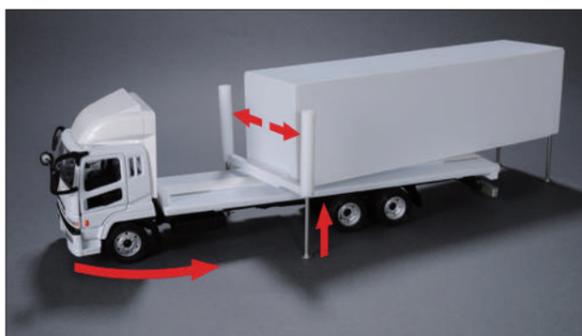
⇨ 脱着ボディ後部は、荷台から少しはみ出させることによって、油圧ジャッキはトラックの真後ろに位置します。これで脱着の際、障害になる支持脚はなくなります。



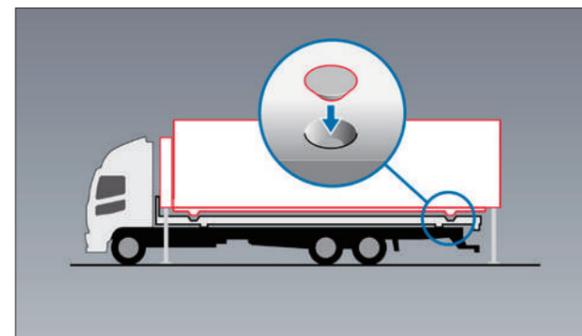
⇨ トラックが前進して脱着ボディは所定の場所におろします。この脱着の際にも前方のジャッキが左右に広がっているのハンドルを切りながら抜け出すことができます。つまり、脱着ボディの前に広いスペースが無くても大丈夫。



⇨ 所定の場所におろした脱着ボディは油圧シリンダーを縮めて、地面まで下げることができます。これによって、強風で脱着ボディが転覆する心配もなくなり、フラットな場所での荷役作業も可能になります。もちろん、油圧シリンダーは任意の高さで止めることも出来ます。



⇨ 脱着ボディの積載は電動油圧システムによって前方の油圧ジャッキを左右に広げたあと、前後4か所の昇降シリンダーによってリフトアップ。トラックが後進で脱着ボディの下に進入します。この際にも前方のジャッキは左右に広がっているの、ハンドルを切りながら後進できます。後部のジャッキは荷箱の後端にあります。脱着ボディが積載位置になると、荷台前方のストッパーによって位置決めされるので、接触する心配はありません。



⇨ 脱着ボディが積載位置になると、前後4か所の油圧シリンダーを縮めて積載します。その際に脱着ボディ裏面の凸部と運搬車荷台の凹部が噛み合っ固定されます。この凹凸部を円錐形状にすることで、積載する際の脱着ボディのズレは修正されます。



VF-DVR-001 FULLHD 5メガピクセル ドライブレコーダー

常時録画

エンジン連動録画

イベント録画

センサー検知時録画

GPS搭載

Googleマップ連動
日付、時刻、速度を記録

音声録画

車内の音声を記録

こんな使いかたも

自分の運転をチェック！

旅行の思い出に！

レース走行を記録！



知と技で世界に羽ばたく
川崎ものづくりプラント

項目	内容
チップセット	Ambarella H.264画像圧縮チップ
センサーデバイス	フルHD 5M CMOSセンサー
画角	約105度
ディスプレイ	LCD 3インチ4:3モニター
供給電圧	DC10-30V
動作温度範囲	-10℃+70℃
記憶デバイス	SanDisk SDカードClass10以上 読み書き速度15MB/s以上推奨 (最小容量:4G、最大容量:32G)
記録フレーム	1920×1080(フルHD1080P/30F) 1280×720(HD720P/30F) システム起動時に自動録画
カメラモード	解像度:3M、5M、8M 手動写真撮影、加速度センサー、セルフタイマー
記録内容	日付、時刻、画像、加速度、GPSデータ(速度含む)
記録形式	専用プレイヤー用独自フォーマット(記録モード)
マイク	内蔵デュアル高感度マイク
時刻設定	GPS信号による自動設定 GPSが無効の場合、内蔵時計を使用
加速度センサー	内蔵
質量	本体:192g、シガー電源アダプター:112g

VIEWTEC

製造販売元:株式会社 日本ヴューテック <http://www.nvt.co.jp/>

営業本部:〒211-0066 川崎市中原区今井西町93-3 TEL.044-722-2211(代) FAX.044-722-8488

本社:〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-239-2 【サポート:TEL.044-722-2211】